

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4863231号  
(P4863231)

(45) 発行日 平成24年1月25日 (2012.1.25)

(24) 登録日 平成23年11月18日 (2011.11.18)

(51) Int. Cl.

F I

<b>EO4B</b>	<b>1/32</b>	<b>(2006.01)</b>	<b>EO4B</b>	<b>1/32</b>	<b>1O2D</b>
<b>EO4C</b>	<b>2/30</b>	<b>(2006.01)</b>	<b>EO4C</b>	<b>2/30</b>	<b>A</b>
<b>EO4C</b>	<b>2/38</b>	<b>(2006.01)</b>	<b>EO4C</b>	<b>2/38</b>	<b>J</b>

請求項の数 9 (全 17 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2009-283552 (P2009-283552)</p> <p>(22) 出願日 平成21年12月15日 (2009.12.15)</p> <p>(65) 公開番号 特開2011-127271 (P2011-127271A)</p> <p>(43) 公開日 平成23年6月30日 (2011.6.30)</p> <p>審査請求日 平成23年5月18日 (2011.5.18)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 598114907 井口 哲朗 東京都渋谷区神宮前6-33-9-102</p> <p>(74) 代理人 100103872 弁理士 柏川 敏夫</p> <p>(72) 発明者 井口 哲朗 東京都渋谷区神宮前6-33-9-102</p> <p>審査官 新田 亮二</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ドーム型建築物用三角パネル、当該パネルを用いたドーム型建築物及び当該ドーム型建築物の構築方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

側面を突き合わせていきドームを形成していく構成部材としての三角パネルにおいて、略U型に成形された金属製の枠材と、  
上記三角パネルの基体となる枠体であって、3つの上記枠材により構成され、当該枠体の側面が傾斜するように当該各枠材を傾斜させ、それぞれの端部を固着させ形成される三角形状の枠体と、

上記ドームの屋根の一部を構成する野地板と、

上記枠体と上記野地板との間に配置され、一端が上記枠体に接合され、他端が上記野地板に接合された羽部分を構成することで、上記枠体と上記野地板との接合する板部材と、

を有し、  
上記羽部分は、上記野地板の傾斜に沿って屈曲し、上記枠体の三角形内側方向に延びて形成されている、

ことを特徴とする三角パネル。

【請求項 2】

上記板部材に係る羽部分が同一平面に形成されている、

ことを特徴とする上記請求項 1 に記載の三角パネル。

【請求項 3】

上記枠体を構成する枠材に対して固着されるガセットプレートであって、当該枠材の略U字型に囲まれる部分に一端周辺部が固着され、上記枠体の三角形状の内側方向に延びた